

平成28年度宝塚市政に対する要望

宝塚商工会議所

宝塚市では、平成27年3月に「夢・未来たからづか創生本部」を設置し、総合戦略をまとめ地域創生の具体的な取り組みを推進しようとしています。また、平成28年度からは第5次総合計画の後期基本計画において「市民の力が輝く 共生のまち 宝塚 ～ 住み続けたい 関わり続けたい 訪ねてみたいまちをめざして～」を将来像として掲げ、新たなまちづくりのスタートをきられようとしています。その実現に向け産業振興の観点からも万全の体制で臨まれることと思います。

宝塚商工会議所としても、宝塚市産業振興基本条例の基本理念や経済団体の役割を認識し、当市の産業界の声を十分に反映するよう努め、従前にもまして宝塚市と緊密な連携を図り、産業振興に全力を挙げ宝塚市の発展に寄与する所存です。

つきましては、平成28年度施政方針の策定、予算の編成にあたり、個性と魅力にあふれ、にぎわいと活力に満ちたまちづくりにつながる施策を充実されるよう、以下の5項目について積極的に取り組まれるよう要望します。

1. 宝塚市産業振興基本条例に基づく産業振興政策の推進について
2. 都市機能の維持強化の具体策について
3. 既存事業者への支援及び企業誘致の推進について
4. 市内建設・造園業・測量設計業等の地元企業への優先発注などの支援について
5. 国際観光都市に相応しい集客の創出について

1. 宝塚市産業振興基本条例に基づく産業振興政策の推進について

市内産業の振興について、「宝塚市産業振興基本戦略に係る提言書」では、当市の産業の現状と課題を的確にとらえ、目標実現に向けた戦略はもとより推進体制にまで言及し、将来にわたり安定的に自治体運営を行っていく上で、産業活力の向上は不可欠の要素であるとも指摘しています。

工業分野においては、技術力の高い企業が存在するものの他市と比べて絶対数が少なく、近年は工場流出が相次いでいます。「職・遊・住」バランスのとれた都市構造を実現するためにも、企業誘致や、特定の分野に特化した産業や医療・福祉などを中心に事業者が集まる仕組みづくりにより、新たな雇用の創出が促進される政策を強力に推進されたい。

次に「小規模基本法」や「小規模支援法」に定める経営発達支援計画についてであります。計画策定、実施など商工会議所が担う新たな業務は拡大し続けています。ついては、商工会議所の中小企業相談所の機能の充実、強化を図り、市内産業振興のさらなる推進のため、創業支援制度や宝塚市商工業振興事業補助金(小規模事業者経営改善支援事業・地域活性化推進事業)をはじめとする産業振興予算の充実を要望します。

2. 都市機能の維持強化の具体策について

宝塚市では、兵庫県が示す「都市計画道路網見直しガイドライン」に基づいて「宝塚市都市計画道路網見直し」が検討されています。平成28年度末に予定されている新名神高速道路供用開始後に西谷地区内の交通基盤の整備も重要な課題です。例えば、近年春の桜、秋の紅葉シーズンのJR武田尾駅周辺のにぎわいは目を見張るものがあります。西谷地区住民にとっても通勤・通学に重要な路線バスの円滑な運行のため環境整備について兵庫県とも協調し、取り組まれることを要望します。

南部市街地での交通対策、宝塚市役所周辺の行政施設が集まるシビックゾーンにおいては、NTN(株)宝塚製作所跡地の開発により周辺道路への負担は倍加され、産業界は、渋滞発生率の増大による経済活動への重大な影響を危惧しています。

「宝塚市都市計画道路網見直し」にある道路網の見直しだけでなく、総合的な検証を直ちに実行されたい。

NTN(株)宝塚製作所跡地や宝塚ガーデンフィールズの跡地整備等により劇的に変わることによる、お買い物に対する市民のニーズや地理に不慣れた地域外からの来宝者等交通量の増加、周辺の既存事業者に与える操業環境の変化に臨機応変に対応が必要な道路整備、とりわけ武庫川渡河部対策の優先度を上げ、果敢に取り組んでいただくよう強く要望します。

それに加え、観光産業振興の観点からも大型観光バス乗り入れの利便性の向上、特に乗り入れ禁止道路の緩和や駐車場の整備等観光集客に資する産業交通基盤の整備を強く要望します。

3. 既存事業者への支援及び企業誘致の推進について

企業は相互に補完しあい共存共栄を図ることで発展がもたらされます。“ヒト・モノ・金・情報”は地域に集まり、互いに流動しながら活力を生む原動力となります。宝塚市のめざす定住人口の増加には雇用の増大は不可欠であり、事業所の絶対数の増加が果たされなければ達成が困難と思われまます。

近年、工場の流出が相次ぎました。特に、工業地域への就労者の乗降駅であった小林・仁川周辺では小規模な飲食店が相次いで閉店、商店街の賑わいも翳りが見えており、これは工場の流出が少なからず影響を及ぼしているものと思われ、都市機能の低下を招く一因と考えられます。採石場跡地など市内の未利用地への産業誘致策や産業核となる企業育成策の推進等積極的に取り組まれます。

また、既存事業者への支援策も大変重要であります。流出を防ぐだけでなく雇用増進にも寄与することが期待されることから、小規模事業者経営改善貸付の金利補助などのほか、既存事業者への経営基盤の強化、操業環境の整備などの支援策である「宝塚市設備投資及び販路拡大支援」も今以上に取り組んでいただきたい。

また、企業における省エネ対策やエネルギーの安定供給、再生可能エネルギー等の技術開発に対する支援を強化されたい。

4. 市内建設・造園業・測量設計業等の地元企業への 優先発注などの支援について

地域内の建設需要は市内事業所での施工が理想的であり、市内事業所の競争力を高める手段としても有効です。そのため、市内建設事業者等が耐震・バリアフリー等の工事を請け負う場合の補助金助成率の拡大や新規補助事業の創設など、市内建設業の受注機会の増加につながる施策を要望します。

また、地域活性化や安全・安心に資する社会基盤の整備等に係る公共工事予算を十分に確保するとともに、これら公共工事の発注に際しては、地元中小企業の受注機会の拡大に努め、優先発注枠の設定と分離・分割発注の徹底を図られるとともに、入札に関して、全ての発注に対して最低制限価格制度を国・県に準じたものにしていただくよう要望します。

建設業界では、資材急騰や熟練工の不足等、企業単位では解決が困難な事象も出ています。慢性的な人手不足と資材高騰は中小建設業の体力を奪い、市内建設業の競争力の低下等成長を阻害する長期的な問題として影響が懸念されます。こ

これらの状況も斟酌いただき予算措置ならびに支援策を強く要望します。

平成 27 年度に木接太夫生誕 500 年を記念し彰徳祭が営まれ、植木・園芸に携わる多くの事業者が参加しました。伝統産業の継続と発展に力を合わせ、複数の団体が業界振興へ協力しようとの機運が高まっています。市内のあらゆる造成・開発において市内植木・園芸業者が生産する植木を植栽するよう強く指導するなど、この機会をとらえ、関係者の英知を結集し当市の伝統的地場産業である植木産業の振興につなげられたい。

5. 国際観光都市に相応しい集客の創出について

昨今大阪周辺の宿泊施設が不足傾向にあり、とりわけ中国を中心とする東南アジアからの観光客が増加しているため、宿泊を中心に来宝者が増えています。

については、国内外からより多くの観光客を呼び込むためにも、観光資源の発掘、多様化する観光ニーズに応える効果的な情報発信とPR、これらのインフォメーションの外国語表記を早急に実施していただきたい。特に、主要な玄関口である宝塚駅周辺にデジタルサイネージを設置し、国内外からの来宝者に可能な限りそのときどきの宝塚の情報を案内可能になるよう予算措置を講じられたい。

また、観光花火大会が市役所周辺に移転することに伴い、その対策として観光プロムナードエリアでの代替イベントを関係者と協議調整し実施されたい。また、それら中心市街地の宿泊施設・商業施設の活性化対策と併せて、ガーデンフィールズ跡地においては宝塚大劇場・手塚治虫記念館などの地域資源を活かし市民文化の向上とにぎわいの創出を強力に推進されたい。

昨今注目を集める自然体験活動や地産地消への関心に応えられる地域は当市北部西谷地域が最も有力と考えられます。新名神高速道路SAでは当市の魅力を発信する重要な拠点として宝塚市や関係者が中心となって積極的に観光ルートを提案し、流入促進に努められたい。更には、これら地域の魅力である自然環境や遊休農地の有効活用を促進し、新たな観光資源として活用するために必要な規制緩和を願いたい。

要望書提出者

宝塚商工会議所

会 頭	宮本 博司	(株宮本工務設計事務所)
副 会 頭	大室 　・	(医尚和会 宝塚第一病院)
副 会 頭	矢野 浩臣	(宝塚高原ゴルフ株)
専務理事	新谷 俊・	(宝塚商工会議所)
理事・事務局長	岡本 　学	(宝塚商工会議所)
総務常任委員長	矢野 恒男	(株矢野工務設計事務所)
経済活性化常任委員長	温井 甚佑	(株エフエム宝塚)
広報常任委員長	神尾 友治	(株ファミリーエイジェンシー)
会員福利厚生常任委員長	川口 義孝	(株売布建設)
工業部会長	星野 憲太郎	(株ハイレックスコーポレーション)
建設・植木部会長	龍見 治彦	(株タツミ測量設計事務所)
商業部会長	池田 則夫	(宝塚市商店連合会)
観光文化部会長	小早川 優	(株若水)
理財士業部会長	門田 安正	(門田安正税理士事務所)
サービス部会長	藤井 泰生	(仁川理容)
青年部会長	岩瀬 勝也	(イワセ歯科・矯正歯科クリニック)
女性会会長	松本 千代子	(まつ本)
西谷支部長	二井 久和	(N I I 建築サービス)